

頭痛について

種類は大きく分けて2つ

頭痛の経験がある人は多いのではないだろうか。しかし、一口に頭痛と言っても、その性質や程度、原因は多種多様であり、対処方法は原因によって異なります。

国際頭痛分類では、頭痛は脳や頭部に病気が隠れていないにもかかわらず慢性的に繰り返して起きる一次性頭痛と、脳や頭部の病気の症状として起きる二次性頭痛に大別されています。一次性頭痛には片頭痛や緊張型頭痛、群発頭痛などがあり、二次性頭痛の原因疾患には脳腫瘍、髄膜炎、慢性硬膜下血腫、くも膜下出血などがあります。

何年も前から同じような頭痛を繰り返している場合は一次性頭痛であることが多く、生命の危険に及ぶことはほとんどありません。しかし、実際に日常生活に影響があり、治療が必要なことも少なくありません。内服薬などで改善することは多いのですが、薬

を飲みすぎると、時に頭痛を悪化させることがあるので注意が必要です。

一方、突然起きた頭痛、今まで経験したことがない頭痛、いつもと様子の異なる頭痛、悪化していく頭痛、長期間持続する頭痛、50歳以降に初めて起こった頭痛、発熱を伴う頭痛、手足の麻痺や舌のむつれを伴う頭痛は、二次性頭痛の可能性があります。二次性頭痛であった場合、治療の遅れが生命の危機や重い後遺症につながるが多いため、速やかに診断を受ける必要があります。

日常生活に支障をきたす頭痛で困っている人、鎮痛剤の服用回数が多い人、頭痛のことで病院を受診したことがない人は一度、脳神経外科や脳神経内科を受診してみてください。